

事業所名	グループホーム朋寿
日付	2008/10/20
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
	評価調査員 介護支援専門員 認知症ケア専門士 介護支援専門員 介護福祉士
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります！)※	

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所者が職員に家族のように何でも話せ、毎日悔いなく、楽しく安心して過ごせる生活空間の提供を目指しています。またこのハウスで生活できて良かったと思っております。</li> <li>職員はすこやかで楽しい我が家でもらえるような支援をめざしています。</li> <li>協力医療機関を確保している。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>共用の生活空間はいたるところにテーブル・椅子・ソファ等を設置してつくりだしてもらったり また畳を敷き足を伸ばして過ごせるようにもしている。居室は使い慣れた生活用品がもちこまれて安心して過ごせるように取り組まれている</li> <li>各ユニット間の行ききができるようになってきている。玄関もオープンにしてあり閉塞感の防止に努め、心の安定を図っている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人ですることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

## 1. 評価結果の概要

講評
<p>全体を通して (特に良いと思われる点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理念「私たちは、出会いを大切に笑顔あふれるホームをめざし地域社会に奉仕します」に基づいて温かい心遣いで支援されている様子が伺われました。また入居者ひとり一人のペースに合わせた自立支援、自己決定を大切にされています。</li> <li>3ユニット毎の特色も見受けられ、ユニットをつなぐ広いわたり廊下は共有スペースでテーブル・椅子・ソファ等をおいてくつろげる生活空間になり、またお祭り等行事の開催や地域の方との交流の場としての利用ができる。</li> <li>ホーム内の研修も課題を見つけて勉強会を持って日々努力されているように思う。今月から個別記録をより見やすく使いやすいように書式変更し、一冊の中に血圧・排 (尿、便)・食事・薬・入浴のようすなどがすぐ解かるようになったものを使用している。今後より良いものに改善していく計画のようです。</li> <li>ホームは少し小高い位置にあり景観・環境ともによく、周りには民家・近くにスーパー・中学校・幼稚園がある。入居者の方がほぼ毎日散歩や買物に出掛けて閉じこもり防止や地域の人のたちとの交流をしている。玄関はオープンにしてあり閉塞感の防止や心の安定を図っている。</li> <li>居室入口にある小窓にはそれぞれ工夫をして見えにくいようにしている。失禁の対応もトイレと浴室との繋がりがよくして不安や羞恥心、プライバシーの配慮ができています。</li> <li>管理者は自分たちが住みたいと思えるホームづくりを職員とともにめざしている。入居者の家族は職員の笑顔で気持ちよい挨拶、対応に温かみを感じている。</li> </ul> <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>改善の余地としては見当たりませんが、今されている事を今以上に努力され、職員の皆様が心身ともに健康で自己研鑽に励み、入居者ひとり一人の自立支援に取り組み、入居者の皆様がこのホームで生活することができてよかったと満足していただける「楽しい我が家」をめざしていただきたいと思う。</p>

### 健康 III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の経験や趣味を大切に、絵の好きな方には庭できれいに咲いた花を切ってきてスケッチしてもらうことや楽器演奏のできる方はピアノ、ハーモニカ等を演奏してもらい、歌の好きな方には歌ってもらい個人を尊重し趣味を継続できる機会を持って取り組んでいる。</li> <li>入居者ひとり一人のペースに合わせてできること (調理、調理盛り付け、買物、散歩、洗濯物干しなど) を一緒にして喜びを引き出す言葉かけや雰囲気づくりをしている。</li> <li>居室入口にある小窓にはそれぞれ工夫を凝らして見えにくいような配慮や失禁の対応はトイレと浴室の繋がりをよくして、不安や羞恥心、プライバシーに配慮をしている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月サービス提供のカンファレンスを行っている</li> <li>事故報告書、ヒヤリハットなどを活用しての勉強会やテーマ (水分摂取の難しい人や嚥下困難な人への対応など) を決めてそれが達成できれば、次にはどのようなことで入居者の自立支援に繋げるかと自己研鑽している。</li> <li>運営会議時提案された意見をサービス向上に役立っている。</li> </ul>		